

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月6日

上 場 会 社 名 トーカロ株式会社

上場取引所

亩

コード番号 3433

URL https://www.tocalo.co.jp/

代 表 者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 小林 和也

問合せ先責任者 (役職名)取締役 専務執行役員 管理本部長 (氏名)後藤 浩志 (TEL) 078-303-3433

半期報告書提出予定日 2025年11月12日

配当支払開始予定日

2025年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無

: 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利	 益	経常利	益	親会社株主	
	百万円	%	百万円	%		%	する中間紙 百万円	他利 <u>金</u> %
2026年3月期中間期	28, 311	9. 5	6, 518	21. 1	6, 756	22. 4	4, 427	24. 5
2025年3月期中間期	25, 863	12. 6	5, 383	25. 3	5, 520	20. 3	3, 556	19. 1

(注)包括利益 2026年3月期中間期 4,699百万円(△3.3%)

2025年3月期中間期 4,857百万円(20.6%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円銭
2026年3月期中間期	74. 46	_
2025年3月期中間期	59. 83	_

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	84, 343	68, 009	74. 3
2025年3月期	81, 683	65, 730	74. 2

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 62,645百万円

2025年3月期 60.645百万円

(注) 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月 期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円 銭	円銭	円銭	円銭		
2025年3月期	_	30.00	_	38. 00	68. 00		
2026年3月期	_	37. 00					
2026年3月期(予想)			_	33. 00	70. 00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2025年11月6日)公表の「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	5	営業利:	益	経常利益	益	親会社株主はする当期料	に帰属 阿利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57, 000	5. 1	13, 000	6.0	13, 000	3.5	8, 330	3. 5	140. 08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。これに伴い対前期増減率についても反映後の数値にて計算しております。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社(社名)— — 社 (社名) — 、除外

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無 ③ 会計上の見積りの変更 : 無 4 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	61, 200, 000株	2025年3月期	61, 200, 000株
2026年3月期中間期	1, 731, 254株	2025年3月期	1, 744, 662株
2026年3月期中間期	59, 459, 286株	2025年3月期中間期	59, 442, 711株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると 判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。 当社は、2025年11月13日に証券アナリスト及び機関投資を向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で

配布する決算補足説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期状界に関する定性的情報	2
(1)経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	ç
(継続企業の前提に関する注記)	ç
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	ç
(セグメント情報等の注記)	ç
(企業結合等関係)	.10
3. その他	.11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年4月1日から2025年9月30日まで、以下「当中間期」という)の当社グループを取り巻く事業環境は、米国関税政策の影響や地政学リスクの高まりから、先行き不透明な状態が続いております。半導体分野は生成AIの重要性の高まりによりデータセンターへの投資が依然として活発でありましたが、それ以外は比較的穏やかな滑り出しであったことから、前年同期比で微増収に留まりました。一方で産業機械、輸送機器、電力・エネルギー分野は総じて堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社グループは新規成膜プロセスの開発や受注活動の強化を行ったほか、持続的成長に向けた中長期的な視点での新市場開拓や新技術開発に加え、一層のコスト削減と生産効率の向上の取り組みを継続いたしました。

その結果、当中間期における当社グループの連結業績は、売上高が前年同期比24億48百万円(9.5%)増の283億11 百万円、営業利益が同11億35百万円(21.1%)増の65億18百万円、経常利益は同12億35百万円(22.4%)増の67億56百万円、親会社株主に帰属する中間純利益は同8億71百万円(24.5%)増の44億27百万円となりました。

また、セグメント別の業績は次のとおりであります。

[溶射加工(単体)]

産業機械、その他分野の売上は堅調に推移したものの、半導体・FPD(フラットパネルディスプレイ)分野、鉄鋼分野は期初計画をやや下回ったことから、当セグメントの売上高は、前年同期比6億35百万円(3.3%)増の199億61百万円、セグメント利益(経常利益)は、同1億56百万円(3.6%)減の41億67百万円となりました。

[国内子会社]

国内子会社は、前期下半期から連結子会社となった株式会社寺田工作所の業績が加わったものの、日本コーティングセンター株式会社において自動車関連の受注が伸び悩んだことにより、当セグメントの売上高は、前年同期比2億17百万円(18.3%)増の14億09百万円、セグメント利益(経常利益)は、同3百万円(1.9%)減の1億54百万円となりました。

[海外子会社]

海外子会社は、半導体関連、鉄鋼関連の受注が引き続き好調であったことから、当セグメントの売上高は、前年同期比17億58百万円(45.2%)増の56億49百万円、セグメント利益(経常利益)は、同11億21百万円(92.6%)増の23億32百万円となりました。

[その他表面処理加工]

溶射加工(単体)、国内子会社、海外子会社以外のセグメントについては、医療機器向け加工が好調に推移したものの、農業機械部品、鉄鋼・自動車関連の加工需要が減少したことから、当セグメントの売上高の合計は、前年同期比1億53百万円(11.1%)減の12億28百万円、セグメント利益(経常利益)の合計は、同43百万円(23.0%)減の1億47百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における総資産は843億43百万円となり、前連結会計年度末比26億59百万円増加いたしました。これは、法人税等の支払いもあり流動資産が9億61百万円減少した一方、当社東京工場での新棟建設が着手されたことなどにより、有形固定資産が34億89百万円増加したことによるものであります。

一方、当中間連結会計期間末における負債は163億34百万円と前連結会計年度末比3億81百万円増加いたしました。これは主に当社での建設未払金計上の一方で、未払法人税等の減少などにより、流動負債が6億61百万円増加したことなどによるものです。

また、当中間連結会計期間末における純資産は680億09百万円と前連結会計年度末比22億78百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、当中間連結会計期間末の自己資本比率は74.3%(前連結会計年度末比0.1ポイントの上昇)となりました。

なお、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定に伴い、前連結会計年度に係る各数値については、取得原価の当初配分額の見直しが反映された後の数値を使用しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期業績予想につきましては、2025年5月9日発表の連結業績予想に変更はありません。今後の情報収集等により、見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

また、中間配当については当中間連結会計期間の業績をふまえ1株あたり37円00銭といたしました。なお今後の 事業環境を総合的に勘案し、年間配当金の合計額は1株あたり70円00銭と変更ありません。詳細は、本日(2025年11 月6日)公表の「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

		(単位:百万円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14, 483	16, 472
受取手形及び売掛金	14, 776	15, 155
有価証券	3, 500	-
仕掛品	2, 443	2, 539
原材料及び貯蔵品	3, 709	3, 875
その他	1,065	987
貸倒引当金	△19	△32
流動資産合計	39, 960	38, 998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14, 309	17, 378
機械装置及び運搬具(純額)	4, 369	5, 227
土地	12, 145	12, 226
その他(純額)	6, 625	6, 105
有形固定資産合計	37, 449	40, 939
無形固定資産		
のれん	254	241
その他	333	409
無形固定資産合計	587	650
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	475	483
その他	3, 212	3, 274
貸倒引当金	△2	$\triangle 2$
投資その他の資産合計	3, 686	3, 755
固定資産合計	41, 723	45, 345
資産合計	81, 683	84, 343

(単/	位	:	百万	円)

		(単位:日刀円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 475	1, 471
電子記録債務	2, 510	2, 440
短期借入金	674	698
1年内返済予定の長期借入金	1, 258	960
未払法人税等	2, 387	1,711
賞与引当金	1, 532	1, 497
その他	3, 667	5, 388
流動負債合計	13, 506	14, 168
固定負債		
長期借入金	1, 863	1, 532
退職給付に係る負債	472	495
その他	110	138
固定負債合計	2, 446	2, 166
負債合計	15, 953	16, 334
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 658	2, 658
資本剰余金	2, 308	2, 319
利益剰余金	55, 665	57, 833
自己株式	△1, 926	△1,911
株主資本合計	58, 705	60, 900
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6	$\triangle 4$
為替換算調整勘定	1, 962	1, 758
退職給付に係る調整累計額	△16	△8
その他の包括利益累計額合計	1, 940	1, 745
非支配株主持分	5, 084	5, 363
純資産合計	65, 730	68, 009
負債純資産合計	81,683	84, 343

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	25, 863	28, 311
売上原価	16, 498	17, 578
売上総利益	9, 365	10, 732
販売費及び一般管理費	3, 981	4, 213
営業利益	5, 383	6, 518
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	19
為替差益	74	-
スクラップ売却益	42	48
補助金収入	11	286
その他	20	30
営業外収益合計	161	384
営業外費用		
支払利息	9	10
為替差損	-	112
支払手数料	4	4
支払補償費	9	19
その他	0	0
営業外費用合計	23	147
経常利益	5, 520	6, 756
特別利益		
固定資産売却益	-	11
保険解約返戻金	8	16
特別利益合計	8	28
特別損失		
固定資産除売却損	12	15
特別損失合計	12	15
税金等調整前中間純利益	5, 517	6, 768
法人税等	1,694	1, 969
中間純利益	3, 823	4, 799
非支配株主に帰属する中間純利益	266	372
親会社株主に帰属する中間純利益	3, 556	4, 427

中間連結包括利益計算書

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	3, 823	4, 799
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	$\triangle 1$	1
為替換算調整勘定	1, 028	△109
退職給付に係る調整額	7	7
その他の包括利益合計	1,034	△100
中間包括利益	4, 857	4, 699
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	4, 241	4, 232
非支配株主に係る中間包括利益	616	466

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	(単位:百万円) 当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u> </u>	ш 2020 г о удоотну
税金等調整前中間純利益	5, 517	6, 768
減価償却費	1, 521	1, 747
のれん償却額	_	13
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8	14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△48	△36
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	17	22
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	$\triangle 4$	△7
受取利息及び受取配当金	△13	△19
支払利息	9	10
固定資産除売却損益(△は益)	12	4
保険解約損益(△は益)	△8	△16
売上債権の増減額 (△は増加)	203	△544
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△293	△324
仕入債務の増減額(△は減少)	△2, 238	△126
未払費用の増減額 (△は減少)	△72	$\triangle 459$
その他	△946	△101
小計	3, 646	6, 944
利息及び配当金の受取額	9	19
利息の支払額	△20	△10
法人税等の支払額	△938	△2, 482
営業活動によるキャッシュ・フロー	2, 696	4, 470
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150	△155
定期預金の払戻による収入	339	252
有価証券の償還による収入	500	_
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 2,839$	$\triangle 2,572$
有形固定資産の売却による収入	-	28
無形固定資産の取得による支出	△10	△120
投資有価証券の取得による支出	△653	△137
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△598	-
その他	8	△58
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3, 404	$\triangle 2,763$
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△648	△628
配当金の支払額	△1, 663	△2, 208
非支配株主への配当金の支払額	△204	△187
自己株式の取得による支出	△0	$\triangle 0$
その他	△30	△29
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2, 546	△3, 054
現金及び現金同等物に係る換算差額	191	△56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3, 062	△1, 403
現金及び現金同等物の期首残高	19, 656	17, 591
現金及び現金同等物の中間期末残高	16, 594	16, 187

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位・百万円)

							(+	<u> 1世・日刀円/</u>
		報告セク	ブメント		その他		調整額	中間連結 損益計算書
	溶射加工 (単体)	国内 子会社	海外 子会社	計	(注) 1	合計	(注) 2, 3	計上額 (注) 4
売上高								
外部顧客への売上高	19, 325	1, 191	3, 890	24, 407	1, 381	25, 789	73	25, 863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	549	234	32	816	11	828	△ 828	_
計	19, 875	1, 426	3, 922	25, 224	1, 393	26, 617	△ 754	25, 863
セグメント利益	4, 324	157	1, 211	5, 693	190	5, 884	△ 363	5, 520

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、TD処理加工、ZACコーティング加工、PTA処理加工を含んでおります。
 - 2 外部顧客への売上高の調整額73百万円は、事業セグメントに属しない全社収益(受取ロイヤリティー等)であります。
 - 3 セグメント利益の調整額△363百万円には、各事業セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)△389百万円が含まれております。全社損益は、主に事業セグメントに帰属しない営業外収益、一般管理費及び研究開発費であります。
 - 4 セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。
- Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

		報告セク	ブメント		その他		中間連結 調整額 損益計算書	
	溶射加工 (単体)	国内 子会社	海外 子会社	計	(注) 1	合計	(注) 2, 3	計上額 (注) 4
売上高								
外部顧客への売上高	19, 961	1, 409	5, 649	27, 020	1, 228	28, 248	62	28, 311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	616	237	40	894	23	918	△918	_
1	20, 578	1, 647	5, 689	27, 915	1, 251	29, 166	△855	28, 311
セグメント利益	4, 167	154	2, 332	6, 655	147	6, 802	△46	6, 756

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、TD処理加工、ZACコーティング加工、PTA処理加工を含んでおります。
 - 2 外部顧客への売上高の調整額62百万円は、事業セグメントに属しない全社収益(受取ロイヤリティー等)であります。
 - 3 セグメント利益の調整額△46百万円には、各事業セグメントに配分していない全社損益(全社収益と全社費用の純額)△90百万円が含まれております。全社損益は、主に事業セグメントに帰属しない営業外収益、一般管理費及び研究開発費であります。
 - 4 セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2024年8月26日に行われた株式会社寺田工作所との企業結合について、前連結会計年度より暫定的な会計処理を行っておりましたが、当中間連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当中間連結会計期間の中間連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額の見直しが反映されており、前連結会計年度末の連結貸借対照表では、のれんが59百万円、投資その他の資産のその他が22百万円それぞれ減少し、無形固定資産のその他が89百万円、固定負債のその他が8百万円、固定負債のその他が8百万円でおります。

この結果、前連結会計年度末において暫定的に算定された株式会社寺田工作所取得に係るのれんの金額313百万円は、会計処理の確定により254百万円となりました。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

生產実績

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	前年同期均	í
	生産高(百万円)	生産高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	11, 395	11, 989	594	+5.2
産業機械用部品への加工	2, 370	2, 655	285	+12.0
鉄鋼用設備部品への加工	2, 029	1, 974	△ 54	△2.7
その他の溶射加工	3, 530	3, 341	△ 188	△5. 3
溶射加工(単体) 計	19, 325	19, 961	635	+3.3
その他表面処理加工	1, 381	1, 228	△ 153	△11.1
国内子会社	1, 191	1, 409	217	+18.3
海外子会社	3, 890	5, 649	1,758	+45.2
合 計	25, 789	28, 248	2, 459	+9.5

⁽注) 上記の金額は、販売価格によっております。

② 受注状况

(受注高)

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	前年同期均	Ĺ
	受注高(百万円)	受注高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	12, 653	11,857	△ 795	△6.3
産業機械用部品への加工	2, 496	2, 520	23	+1.0
鉄鋼用設備部品への加工	1, 955	2, 117	161	+8.3
その他の溶射加工	3, 207	3, 051	△ 156	△4. 9
溶射加工(単体) 計	20, 313	19, 546	△ 766	△3.8
その他表面処理加工	1, 434	1, 216	△ 218	△15. 2
国内子会社	1, 237	1, 348	110	+8.9
海外子会社	4, 412	5, 994	1, 581	+35.8
合 計	27, 398	28, 105	707	+2.6

⁽注) 上記の金額は、販売価格によっております。

(受注残高)

セグメントの名称	前中間 連結会計期間末 (2024年9月30日)	当中間 連結会計期間末 (2025年9月30日)	前年同期均	í
	受注残高(百万円)	受注残高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	5, 894	5, 240	△ 653	△11.1
産業機械用部品への加工	506	673	167	+33.1
鉄鋼用設備部品への加工	902	1,038	135	+15.0
その他の溶射加工	707	647	△ 59	△8.5
溶射加工(単体) 計	8,010	7,600	△ 410	△5. 1
その他表面処理加工	389	336	△ 53	△13. 7
国内子会社	96	119	23	+24.1
海外子会社	2, 373	3, 151	778	+32.8
合 計	10, 869	11, 207	337	+3.1

⁽注) 上記の金額は、販売価格によっております。

③ 販売実績

セグメントの名称	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	前年同期以	í
	販売高(百万円)	販売高(百万円)	金額(百万円)	増減率 (%)
溶射加工(単体)				
半導体・FPD製造装置 用部品への加工	11, 395	11, 989	594	+5.2
産業機械用部品への加工	2, 370	2, 655	285	+12.0
鉄鋼用設備部品への加工	2, 029	1, 974	△ 54	△2. 7
その他の溶射加工	3, 530	3, 341	△ 188	△5.3
溶射加工(単体) 計	19, 325	19, 961	635	+3.3
その他表面処理加工	1, 381	1, 228	△ 153	△11.1
国内子会社	1, 191	1, 409	217	+18.3
海外子会社	3, 890	5, 649	1,758	+45.2
受取ロイヤリティー等	73	62	△ 10	△14.8
合 計	25, 863	28, 311	2, 448	+9.5

以上